

科目名	哲学	対象学年・時期	1年 前期
講師	非常勤講師	単位数・時間数	1単位・15時間
講義概要	<p>ディプロマポリシー1・2・3・6に基づく。  人間は、生まれてから死に至るまでの過程でさまざまな経験をする。人間が経験する出来事を、常識や既存の考え方に拠らず捉え直すことは、人間の存在価値や価値についての理解を深めることにつながる。このようになる。したがって、生じている事象・出来事を認識し、じっくり考えることが大切である。看護は、人間にとって避けることのできない「生老病死」に直接関わる職業である。「生老病死」は人間に考えることが必要であり、人間を多角的に捉える視点をもつことが求められる。深く思考すること、多角的な視点をもつことの重要性を理解し、人間理解の基礎として哲学を学ぶ。</p>		
授業形態	講義		
学習目標	① 人間存在の意味や価値について哲学的に考察する。 ② 多角的に人間を理解し、看護に生かすための基礎理論を身につける。		
授業計画	1. 古代ギリシア人の世界観 2. 古代ギリシアの自然哲学 3. ソクラテス「無知の知」 4. プラトンとアリストテレスの哲学 5. 中世のキリスト教哲学 6. デカルト「我思う、ゆえに我あり」 7. ロックの人間悟性論とカントの認識論  終講試験（45分）		
使用テキスト	テキストは使用せず、毎時間プリントを配布する。		
事前学修・事後学修 (学習を促進できる学修)			
評価基準と評価方法	平常点（出席状況、課題等）および終講試験により総合的に判断し評価する。終講試験は論文形式とする。		
備考	哲学というと難しいという印象があるかもしれないが、何も特別なことではない。われわれ人間の日常生活あるいは人生の中にも哲学的な問題が含まれている。この授業では絵画資料や哲学者たちのエピソードも交えながら、哲学に対する理解を深めていきたい。		

